

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2、3面 タイの魅力
- 4面 インド総選挙
- 5面 アゼルバイジャン独立100周年
- 6、7面 列島AALA
- 8面 わたしとAALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2019年7月1日 No.708

オリンピック会場で武器の商取引?!

武器見本市開催に抗議



230人がダイ・イン

MAST (Maritime/Air Systems & Technologies) Asia 2019、これは国際的な海洋防衛の武器見本市で、来年オリンピック会場になる幕張メッセで6月17～19日に開かれたことをご存知ですか?MASTは、2006年から毎年欧米で開かれ、15年にアジアで初めてパシフィコ横浜で、17年、19年に幕張メッセで開催されました。3回も開催された国は他にありません。

さらに、今年11月には「DSEI JAPAN 2019」、ロンドンで隔年開催されている陸海空の総合的な武器見本市ですが、今回初めて幕張メッセで開催されます。まさに「幕張メッセは武器取引のメッカ」になろうとしています。憲法9条を持つ国で、しかも県有施設での開催なのです。

黙って見過ごせないと立ち上がったのが、「安保関連法に反対するママの会@ちば」。2017年は会場前での抗議行動だけでしたが、今回はもっと多くの人に知らせればきっと開催に反対してくれるだろうと、いろんな活動を展開。その母体となったのが、ママの会の呼びかけで昨年10月に結成された「幕張メッセでの武器見本市に反対する会」。原則個人参加ですが、千葉県AALAは団体として賛同し、宣伝や時々の行動に参加してきました。

以下は今までの「反対する会」の活動です。

○駅頭での宣伝やシール投票:約2000人がシール投票に参加し、95%が開催に反対。

○千葉県議会へ請願書提出。賛成少数で不採択。千葉市や周辺自

治体でも陳情書等提出。

○県議会選挙候補者への公開質問状:開催賛成派は回答なし。

○千葉県知事に開催中止を求める請願署名提出:約1ヶ月半の短期間にネット署名及び紙の署名で1万8014筆提出。(6/4現在)

○「武器よさらば アートフェス」:幕張メッセに近い海浜幕張駅前で歌・紙芝居・絵・ダンス等、「武器よりアートを」とイベント開催。そして、開催初日の17日、13時から30分間の会場前での抗議行動には約230名が参加。多くの方が駆けつけNO!コールとダイ・イン。会場内に届いたに違いありません。駅前では3日間、抗議のスタンディングが行われました。

写真:松井幸博常任理事

文:上田敦子千葉AALA事務局長

ホーチミン記念館 右奥にタイ前国王の写真



タイ再発見

滞在30年の ジャーナリストが語る

宇崎 真 (ジャーナリスト)

タイに暮らすことへの日本人の見方は随分変化した。昔は「よくそんなところで生活していますね」と不思議がられたものだ。それがいまは「いいところに住んでいてうらやましい」とまで言われることがある。その変化は日本のバブルが弾けたときからだ。

タイにあって日本にない、あるいは消えていったものへの郷愁、惜別、残念な思いがそうさせるのだろうか。大家族の団らん、年配者への敬意、子どもは社会の財産、食糧の自給自足、これらはみな日本が失ってきた社会の基盤だ。逆に日本にあってタイにないもの。それは引きこもりと登校拒否、痴漢（したがって痴漢の冤罪も）。こう書くのはタイへの身轟負がなせるわざか。

バンコクで高架電車 BTS（スカイトレイン）に乗ると、多数のタイ人はスマホと孤独な対話を開始する。日本の風景と変わらない。だが同時にお年寄りや幼少者へのいたわりをきっと目にするようになる。穴あきジーンズのスマホ青年でもすぐに席を譲る。最近では BTS も込み合う。だが痴漢は出没したという話は聞かない。覚せい剤にまつわる犯罪は多いし殺人事件も日本と比較して多発する。だが、日本の犯罪は軽重問わず陰

湿になっているのではないか。恐らく日本の閉塞管理社会、老若男女問わず希望が持てない社会が人々を追い込んでいるのだろう。

人生やり直しができる国

タイの魅力はと問われると、私は「選択の余地が幅広い国と社会」と答える。それはタイ人にとっても短期長期の外国人居住者にとってもそうだ。私はある社会をみる基準にいつからか「人生やり直しができるかどうか」を置くことしている。タイ社会で悪童がやがて「罪滅ぼし」や「両親をこれ以上悲しませないために」僧侶になったとする。と、その瞬間からそれはありがたいことだと大勢の人々が手を合わせ素直に拝む。「善良」青年が僧侶になる以上にありがたがられる。これ以上の人生やり直しはない。それは例外なくすべての男子に与えられるチャンスである。一方女子は元々タイの伝統的な母系制大家族制度のなかでは柱となる存在であり、家や土地等の財産相続の対象である。男子は婿入りしてその新家族に尽くすことになる。扶養義務を負わされないがその分尊重されない。僧侶になって精神的支柱となれば、その家族にとっても最高に誇らしい存

在となる。

3年前 ホーチミン記念館も建設

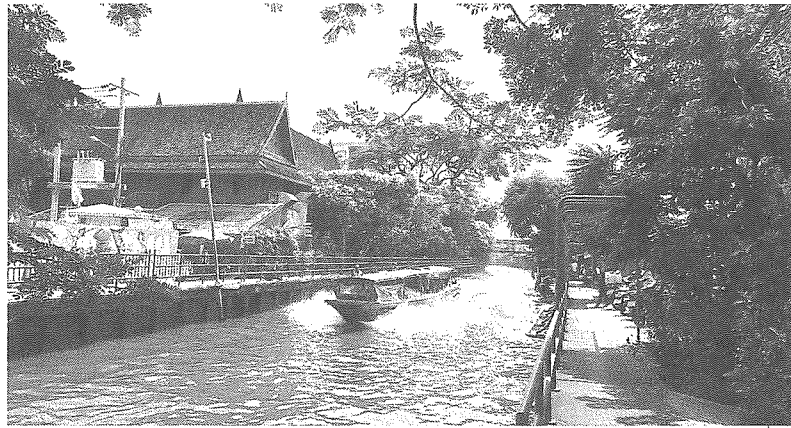
典型的な父系制社会で「男尊女卑」が色濃くのこる中国人社会との混血、混合がすすんでいるので、とくに都会ではそのタイ社会の伝統はみえにくくなっている。だから短期間でタイ社会の基層をみるには農村訪問が欠かせない。一家の柱たる娘たちが親や祖父母の老後のため献身する姿をどこでも目の当たりにすることになる。こうしたアングルがあれば、タイ国内どこを旅しても印象は違ってくる。そして知れば知るほど意外な事実が発見できる。

タイ東北部メコン河沿いのナコンパノムにはホーチミンの隠れ家は今も残っており3年前には立派な「ホーチミン記念館」が建設された。かつての「敵国」の最高リーダーを敬うことになるのだから驚きである。

泰緬鉄道は必見の地

日本との関係で必見の場所はカンチャナブリの泰緬鉄道、日本軍による連合軍捕虜の強制労働で大量の死者が出た現場だ。Death Railway をもじった JEATH 戦争博

△族居住区
ジム・トンプソンの家、運河を挟んでチャ



りひっそりと暮らすことになる。その一部がバンコクに居を構え、実は世界に誇るタイシルクの先駆けとなっていたのだ。

タイ料理 ハーブが生み出す独特の味

タイの豊かなハーブの世界が独特な料理と、そしてマッサージを生んだ。タイ料理は甘辛酢、塩味、苦みを持ち、味覚も日本人のそれに近い。冠に国名をつけて国際的に通用しているマッサージはタイが断トツである。仏教の流れとハーブの融合が生み出したものなのだ。

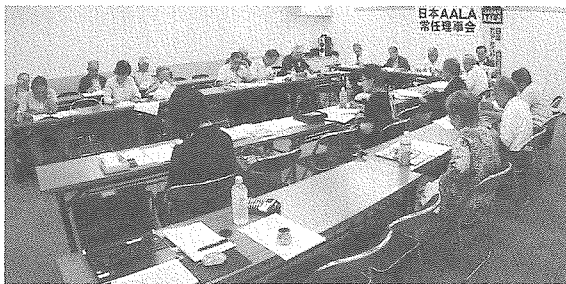
かくして世界中からタイへの訪問客が毎日十万余、人口7000万の国に年間4000万の外国人が来る。人口比でいえば、日本に7300万人がやってくる計算である。リピーターも実に多い。きつと噛みしめてみたい国なのだ。

物館もある。だがこの現場を見ようとすると日本人は圧倒的に少数だ。

推理小説もどきの歴史の謎に関心があれば、タイシルク王ジム・トンプソンの行跡をなぞってみるのもいい。彼はCIAの前身OSSの諜報部幹部であり東南アジアで工作にあたっていた。ベトナム戦争が激化した1967年3月マレーシアの山中で行方不明となり52年経ったいまでも謎はまったく解かれていない。松本清張はラオス

の首都ビエンチャンに逗留してこの失踪事件を扱った小説「熱い絹」を著した。そのジム・トンプソンは自宅から運河を渡った先のチャム族居住区で見事な絹織物に出会い、そこからタイシルクの興隆がはじまった。モスリムのチャム族はベトナム中部の「チャンパ王国」の建設者であったとみられ、一時はアンコール王朝を攻め占領した歴史上の勇者であった。結局ベトナムのキン族に攻略され各地に散

第5次国際署名をすすめ 安倍9条改憲を阻止しよう



日本AALAは、6月6日、第3回常任理事会を開き、8月末の第54回定期大会の4つの議案を審議し、当面の取り組みを確認しました。23名が参加し、都府県はこの間の実践に基づいた発言が続きました。国際情勢では、トランプ政権がアメリカファーストで自国本位の覇権主義を強め、歴史の逆流となっている一方、平和と主権を守る世界の市民の運動が発展しており、核兵器禁止条約の署名70カ国、批准23国と続いていることに歴史的確信を持つこと、国内では、東アジアの平和の流れに逆らって、9条改憲を執拗に狙っている安倍政権の改憲阻止のたたかいを急速に強めることを確認しました。

第3回常任理事会で確認した当面の取り組み

1. AALA 会員を増やし、組織を強化しよう。オスパーコーヒーの普及を強めよう
 - ・大会までに本部・都道府県 AALA が 5 人以上の会員をむかえよう (6/7 ~ 8/30)
 - ・2018 年度会費の全組織からの完全納入を実現しよう
 - ・オスパーコーヒーの普及のため担当者を決め、普及に取り組もう
2. 東アジアの平和の流れに貢献する「第5次国際署名」を推進しよう
 - ・現在集約数は約 5000 筆。大会までに 10,000 筆以上の目標を実現。そのために、AALA 加盟団体、友好団体に署名の協力を要請する
 - ・母親大会、教研集会、土建主婦の会などで署名を呼びかける
3. 9条改憲阻止、辺野古米軍新基地反対、原発再稼働反対、原水禁世界大会参加、核兵器禁止条約の批准を求める意見書の採択推進、などの諸闘争へ参加しよう
4. NAM アゼルバイジャンサミットへの日本 AALA 代表派遣カンパの取り組みを続けよう
 - ・アゼルバイジャン駐日大使の講演会 8月以降に予定

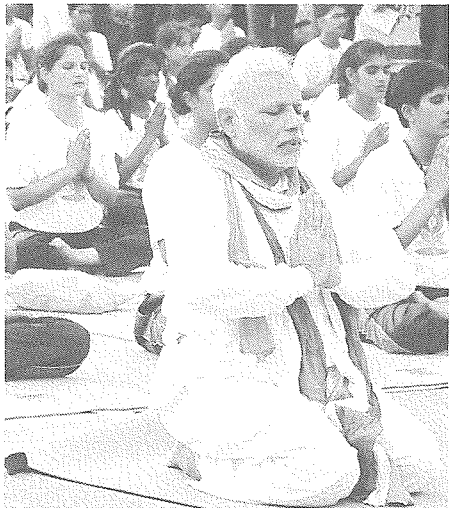
いま世界は! ②

インド総選挙

モディ政権の続投と今後 (上)

佐藤 宏 (南アジア研究者)

ヒンドゥー至上主義と権威主義批判のなか



国際ヨガ・デーのモディ首相

2019年4月から5月まで1カ月以上の期間をかけて実施されたインドの連邦下院選挙は、インド人民党 (BJP) モディ政権5年間のヒンドゥー多数派主義政治、マイノリティ (社会的少数派) の抑圧と迫害、排外主義と国家主義の道をそのまま進むのか、それに歯止めをかけるのかを問う重大な選挙であった。

またこの政権の下では、最大の公約であった雇用の創出も、2016年

直前のテロ事件を選挙に利用

しかし、2019年2月14日にジャンムー・カシミール州のブルワマで、移動中の治安部隊への自爆テロ攻撃で40名の隊員が死亡し、直後にパキスタンを根拠地とするカシミール地方の分離を主張するイスラム過激派集団「ムハムマドの軍隊 (JeM)」

が犯行を名乗り出る事件が発生したことで、空気は一変した。2月26日、モディ政権はカシミールに隣接する本来のパキスタン領にまで空軍機を侵入させ、JeMの基地とされるイスラム神学校を爆撃した。翌日にかけてはカシミール地方の上空で

双方の戦闘機が交戦、インド空軍将校1名が捕虜となった。将校は3月1日には釈放され、ブルワマに端を発する危機はいったん回避されたが、モディ政権は反パキスタン、反テロリズムの空気を煽り、軍の貢献と首相の指導力を称揚して、選挙活動の流れを大きく与党側に引き寄せた。対外危機を選挙に利用するのは、サッチャー、安倍、トランプと保守政権の常套手段である。

こうしてBJPはもっぱらモディの「再選」を旗印に、テロとパキスタンへの越境攻撃を追い風にして、実績をめぐる争点を隠し、「強いインド」と国家第一主義を売り込んだ。

BJPは「候補者がだれだろうと票はモディに」と訴え、野党を圧倒する膨大な選挙資金を投入し、党員網によるSNSを活用して支持者の掘り起こしに注力した。今回の選挙ほど、選挙活動ルールの徹底的な無視、TVメディアの宣伝と利用、選挙管理委員会への有形無形の圧力を含めて、政府の持つ資源がフルに動

モディ政権のめざす「一強政治」と「大国インド」

2014年、19年と政権を維持したばかりか、その得票率と議席を増加させたBJPは、インド政治の本流を確保したといえよう。BJPの「一党優位体制」、いわば「一強政治」が少なくともこれから5年間は続く。モディ政権は「一強政治」の下でどんなインドをめざすのだろうか。今回のBJPの選挙マニフェストはかなり具体的な目標を掲げてインドの将来像を示している。

まずは任期中の2022年には日本が資金技術協力をしているムンバイ・アフメダーバード間の新幹線や有人宇宙飛行を実現させる。そして、2025年までにはGDPを現在の2.7兆ドルから約2倍の5兆ドルに引き上げる (それに必要な期間中の平均年間成長率は10%というかなり無理な数字である)。こうして2030



「かいじ」車内の安倍首相とモディ首相

員された選挙はなかった。

BJPの全国得票率は前回2014年の31.1%から37.1%に跳ね上がり、従来からの地盤である中部のヒンディー語地域や西部インドでは5割を超えた州も多い。BJPは前回選挙時の282を上回る303議席を獲得し (連邦下院は545議席)、5つの有力な連立政党を含めて353議席と野党を圧倒した。野党第一党の国民会議派は、前回の44議席から52議席へと微増にとどまった。会議派をはじめとする野党は、改めて州政治のレベルからの党勢立て直しを迫られている。

年までにアメリカ、中国に次ぐ世界第3位の経済規模を実現し、インド独立百周年を迎える2047年には、押しも押されもしない世界強国としての地位を確立するというものである。

このような「強国インド」のイメージは、モディ首相の強面イメージと重なり合って、総人口の6割以上を占める35歳以下の若い世代にナショナリズム的な期待感を植え付けている。それがモディ政権のおおきな支持基盤にもなっているのである。

今日の世界的低成長の時代にあって、インドは若年労働力の厚みや、13億人の国内市場の可能性から成長の潜在力を秘めていることは確かである。しかしその過程は平坦ではない。

文化と文明の交差点として

独立100周年のアゼルバイジャン

今秋第18回非同盟首脳会議が開かれるアゼルバイジャンのファリド・タリボフ臨時駐日大使は6月24日東京で開かれた建国記念100周年レセプションであいさつし、大要次のように語りました。

アゼルバイジャンは文化と文明の交差点に位置しています。古代シルクロード沿いの重要な交差点であり、寛容な社会の故郷としてその多様性を誇りにしています。コーカサス山脈の頂きや深い峡谷からレンカランの亜熱帯林、さらにカスピ海の沿岸に至るまで、アゼルバイジャンの多彩でユニークな自然は、偉大なニザミ・カンジャビの遺産を引き継いだ詩人たちやムガムの神秘的な音楽を奏でるミュージシャンの心に影響を与えています。

アゼルバイジャンは1918年5月28日に独立しました。イスラム世界に生まれた最初の議会制共和国でした。自由な比例代表制の普通選挙に基づく多民族からなる多党制の議会によってアゼルバイジャン民主共和国が設立されました。多くのヨーロッパ諸国に先んじて、女性も投票権を与えられました。バクー国立大学が設立されました。残念ながらアゼルバイジャンの独立は短命で、1920年にソビエト連邦の一部となり、その後70年続きました。アゼルバイジャンが独立を回復したのは1991年でした。

それ以来、アゼルバイジャンは、刺々しく国内の不安定さが非常に大きい戦争の国から、世界最速で発展する途上国へと劇的な変化を遂げました。政治的および経済的安定が達成されたことにより、私たちは海外でより積極的な政策を追求することができるようになりました。私たちの国の外交政策はますます積極的になり、世界の国々との友好互惠関係を育んでいます。

天然資源、特に炭化水素資源に恵まれたアゼルバイジャン共和国は、世界のエネルギー政策の形成に重要な役割を果たし、世界のエネルギー安全保障に貢献しています。私はこの機会に、アゼルバイジャンと日本の関係の発展を支援して下さったすべての友人に心からの感謝を表します。アゼルバイジャンと日本の二国間関係は非常に高いレベルにあります。両国は、政治的、経済的、人道的、文化的分野におけるより強力な協力、ならびに地域および国際レベルでの実質的な対話に支えられた相互信頼および相互利益に基づいて、長期的かつ効率的なパートナーシップを確立しています。こういうアゼルバイジャンにみなさんが訪れていただくことを期待してあいさつにかえます。

日本AALAはこのほど第18回非同盟諸国首脳会議のオブザーバー組織AAPSOの正式メンバーに任命されました。



岡山

韓国人から見た
韓国独立運動

2019年度岡山 AALA 総会が6月1日、28人の参加で開かれました。杉山信義共同代表が、「訪日したトランプ大統領への安倍首相のもてなし外交がいかに卑屈で屈辱的なものか。それに比し世界では世論と人びとのたたかひが社会を動かしている。非核平和のアジアと世界への展望を拓く新しい流れが生まれている」とあいさつ。2018年度活動のまとめ、2019年度の活動の重点方針、決算・予算審議、役員選出がおこなわれました。

韓国民団岡山地方本部の南京録氏が「韓国人から見た韓国独立運動」をテーマに講演しました。氏は、「私は日本が大好きです」と前置きし、1375年の足利義満の時代から1592年文禄の役、1597年の慶長の役を経て、1607年から1811年まで続いた朝鮮通信使に象徴される日本と朝鮮の長い友好の歴史を述べ、1875年の江華事件からはじまった日本の朝鮮侵略から1945年の日本の敗戦までの日韓の不幸な時代まで話しました。日清戦争前段に1894年の東学革命に便乗し朝鮮に介入、翌年にはロシアよりの発言をした閔妃皇后を焼き殺した乙未事変、日露戦争を経て1910年の韓国併合(植

民地化)後の1919年3月1日の200万人が独立を求めて武器を持たずに決起した万歳独立運動への徹底的弾圧、1923年9月1日の関東大震災時の朝鮮人虐殺など、枚挙にいとまがありません。満州事変、日中戦争と戦争が激化するなか1930年朝鮮民族抹殺政策、1937年には皇国臣民化、土地収奪、創氏改名、慰安婦、強制労働等々、戦前の日本軍の朝鮮支配は聞くに堪えないことばかりです。

こうした歴史を真摯に受け止め、謝罪と反省を表明し2度と不幸が起こらないようにすべきです。そのためにも歴史認識を共有し、市民間の交流を深めるために岡山 AALA は今年の9月に3度目の韓国訪問を予定しています。

(事務局長 三戸康生)

宮城

今年も学んで行動する
宮城 AALA

一昨年、朝鮮半島をめぐる危機的な状況のなかで、県内の平友連6団体(日中友好協会、日朝協会、ユーラシア協会、平和委員会、原水協、AALA)に、AALA が呼びかけ、共同声明を出しました。それを県の国際協会登録団体約60に送付し賛同・回答などをいただき、地方レベルで「北東アジア平和協力構想」のとりくみを追求してきました。この機会に平友連6団体共同のとりくみで大きなイベントをおこなうと、各団体の存在意義を広めあうことができると確信しました。

日本軍「慰安婦」問題、徴用工問題などで、嫌韓ムードが拡げられています。日本が朝鮮半島を植民地支配し、どれほど朝鮮の国民・市民に迷惑をかけてきたのか、その清算がされていません。これらの責任は、わが日本にあります。安倍9条改憲問題、核兵器禁止条約不参加問題などは戦争責任の清算・追及がなされてません。日本の植民地支配と戦争責任の問題を最大限意識し、日本の犯した罪を



心から謝罪する活動が、いまとても大事と考えています。

今年、朝鮮3・1独立運動100年の記念すべき年に、日本の植民地支配を知る、歴史認識の問題として大きく広げたとりくみをしたいと日朝協会と話し合いを進めています。それには、理事会のかなり多くの時間を学習に使ってきた宮城 AALA 理事会の伝統があります。昨年、岩波新書の趙景達著『植民地朝鮮と日本』と関連文献の学習をしてきました。とくに宮城出身の歴史学者石母田正の『歴史と民族の発見』は、歴史学の門外漢の私にとっては実に感動的なもので、文字通り世界の広がりや AALA の活動を通して体験しました。

かつてアメリカの「裏庭」とされた中南米の進歩的政権の変化、特に最近のベネズエラの情勢をどう見るか、なにを学ぶかの講演会を今年の総会にあわせて企画しました。宮城出身の日本共産党国際委員会、赤旗外信部長の菅原啓さんに講演をしていただきました。米国の陰に陽に干渉があるなかで、多数者による支配・民主主義革命の観点から見ての解明でした。同時に、権力を取得したら、学問、科学技術、産業を重視することの重要性を学ぶべきと感じています。

(事務局長 小林立雄)

兵庫

中国の最新情勢を学ぶ

兵庫県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会は5月12日、神戸市内で総会と「中国の『いま』を考える」学習講演会を開催。70人が参加しました。

群馬 AALA

第5次「国際署名」のとりくみ

昨年の米朝会談を機に北東アジアの急速に平和的動きが強まったとはいえ、日本の安倍政権はこの流れに逆行しています。私は新日本婦人の会や日朝協会など平和友好団体に入って、できるだけ集会などに参加し、そのとき、「国際署名」をお願いしています。紛争だけでなく、貧困、格差、教育、感染症、環境問題の改善という共通課題は多くの人が受け入れてくれます。多くの仲間にはAALAを知らない人もいて、AALAを知らせる機会にもなります。今年もたくさんの署名を集めて、タイに届けられる事を願っています。

(宇津野ユキ理事)

群馬 AALA は、総会を1月に開催し、第1回の理事会を2月23日に10人が参加し開催しました。第1議題の組織報告、第2議題の学習講演会の具体化に続き、第3議題の「戦争するな!」の第5次「国際署名」のとりくみの具体化を提起しました。署名は、昨年並みを目標に9月末までに団体と個人を集約、また、東アジアサミット議長国タイツアーに積極的に参加することを確認し

ました。5月11日の第3回の理事会に宮本理事と宇津野理事の二人が「国際署名」を持って会議に参加。13日に285筆を日本 AALA 事務局に送りました。

昨年とは団体署名のとりくみがとても弱かったので、今年は反省して、二人一組で訪問活動を強化します。

3月16日に西谷修氏を講師に「国連憲章に基づく平和で公正な国際秩序を求めて!」の学習講演会、5月25日に「アフガニスタン干ばつの大地に用水路を拓く」のDVD上映の国際連帯の学習会を開催しました。それぞれ約30人の参加でした。(事務局長 砂長三郎)



五十嵐県労会議議長(左)と石川代表理事



講師の安井三吉神戸大学名誉教授は、日本人の中国観の重層性にも触れながら、中国の近現代史を説明しました。2021年に迎える中国共産党創立100周年、2049年の中華人民共和国建国100周年という「2つの百年」に向けた「中国の夢」などについて解説し、アメリカに対抗して「強国」をめざす中国の世界観やグローバル構想などを明らかにしました。

参加者からは「中国のことはこれまでほとんど知らなかったが、今回はじめて歴史的にもくわしく学べておもしろかった」「尖閣諸島の問題では、琉球王国を日本の領土にしたことは知っていたが、中国(清)と日本との間での取り

決めなど知らなかったのが驚いた」「中国問題についての学習意欲が高まった」などの感想が出されました。

なお、学習講演会に先立って開かれた兵庫県 AALA 第38回定期総会では、この1年間の活動を振り返り2019年度活動方針を採択。新役員を選出しました。

(事務局長 井村弘子)

新潟

草の根の熱いたたかい

新潟では2019年夏の参議院選挙に野党統一候補として、弁護士のうち越さくらさんを擁立し、安倍9条改憲をゆるさず、「豊かな生活を取り戻し、格差と差別のない社会をつくる」ために、草の根からの熱いたたかいを展開しています。

2016年夏の参院選から始まった「市民と野党の共同」で、32の1人区すべてで野党統一候補が



実現し、新潟県でも森ゆうこさんを当選させることができました。その後、秋には「新潟ショック! 政権激震!」と言われた県知事選挙の勝利。「柏崎刈羽原発の再稼働を認めない」という「大義の旗」をかかげ、市民と野党が本気で力を合わせれば勝利できることを体現しました。新潟はこの3年間、「戦争法廃止」の一点で力を合わせてきた「市民と野党の共同」の力を積み重ねてきました。

夏の参院選にむけて、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と5野党・会派の党首による「共通政策」が打ち出されましたが、うち越さくら候補と

市民連合・野党間で、5本・21項目の政策協定を合意しています。5月11日におこなわれた立候補の記者会見では、市民と野党の代表も舞台上がり、うち越さくら候補の決意表明とともに支え、私も5つの政策スローガンの1つを高くかけました。

6月8日の事務所びらきで、児童虐待やDV、貧困など、社会の歪みや理不尽な現実を弁護士として向き合ってきた経験が語られ、今度はその経験を『付度政治』など一部の権力者だけの政治から、『ともにさく一誰ひとり、取り残さない』希望と自信をもって生きられる政治への転換に役立てたい』と決意が述べられました。同時選挙も視野に、参院選挙での勝利めざして新潟 AALA も全力をつくします。

(事務局長 野沢 洋子)

オスパールコーヒーを飲んで やすらぎのひと時を！

暑い夏です。鬱陶しいときもあるでしょうが、オスパールコーヒーを飲んで、ほっと一息、やすらぎを。ニカラグアで採れるマラゴジペは、おすすめです(200g、1320円)。



オスパールコーヒーのギフトセットが
全 15 種類からえらべます

3品セット：3,370円

6品セット：6,290円 (箱代が別が必要)

(株) オスパール

Fax：049-254-8158 電話：049-254-6241



世界を知って日本を変える

私が大阪 AALA に入会したのは、2003年、創立40周年記念講演で不破哲三氏の「世界とアジア・21世紀を迎えて」の講演を聞いた直後でした。それまでは、私学助成をすすめる会で教育や学費問題の運動に携わっていましたが、いっしょに運動をしていた私学の委員長、澤田有さんに勧められての入会でした。その後、四ツ谷光

子さんから役員にと言われ、3年前から事務局長をしています。

AALAに入会した時、それまでの運動とは違う魅力に会い衝撃を受けました。世界を視野に入れて学習し、今日本で起きていることをより深く理解できること。世界が広がっていく喜びを感じました。その魅力をそれまで一緒に運動してきた人たちに話し、15人も会員を増やした年もありました。

役員になってしばらくは、「AALAってなんや？」と聞かれることもありましたが、できるだけいろんな集まりに出かけ、機会があれば宣伝し、活動を紹介することを続けてきました。「世界を知って、日本を変えよう」「憲法を掲げて連帯し、非同盟運動の前進を」の言葉に共感してくれる人

は少しずつ増えています。

「ほかではとりくまないような海外旅行がしたい」と言って入会した会員もいます。

私は、キューバの魅力にとりつかれ、日本 AALA と大阪 AALA からの2回、キューバ旅行をしました。2度目の時はキューバの地域医療・保健についてとくに詳しく見学・交流することができ、そのすばらしさに感動したことが忘れられません。毎年実施している ASEAN 議長国への訪問に一度は参加したいと思っているのですが、脊椎管狭窄症のため(手術もしたのですが、完治せず)思うように海外旅行ができなくなりました。腰痛とも付き合いながら、もう少し、仲間を増やさねば、バトンタッチできないのではないかと思います。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第33 宮庭ビル 4 階
電話：03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>
FAX：03 (3357) 6255 E-mail：info@japan-aala.org
振替 00110-6-72434 毎月 1 回 1 日 発行 1 部 150 円 (送料 62 円)